

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス『ももっこ』		
○保護者評価実施期間	R7年11月 4日		～ R7年11月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 26名	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	R7年12月 1日		～ R6年12月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎回、療育後に保護者とお話する時間を設け、療育内容の報告やご家庭での困り事などを聞けるようにし、保護者の方が日々子育てで感じられている不安ができるだけ軽減するようにしている。	保護者の方の子育て不安については、できる限りその場でお答えできるようにしています。	保護者が相談しやすい事業所となるように、支援員間で情報共有し、保護者の気持ちに寄り添えるようにしていく。
2	外部講師(OT/ST/大学教授)を招いて、専門的なアドバイスをもらい、療育の実践に活かしている。	子どもの姿と保護者のニーズも確認しながら、より良い療育内容になるように、支援員間で検討している。	研修等にも積極的に参加し、新しい情報を得られるようにしていきたいと思います。
3	外の広場がありしっかり身体を動かすことができます。	虫を探したり、季節の草木に触れたり、自然に触れる事で情緒の安定や五感への刺激を促します。	遊具を利用して、楽しみながら全身運動を行い、バランス感覚や運動機能の協調性を養います。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	空間内が狭い	児童発達支援を基本で作られているため、サイズが合わない	必要に応じて空間整備が出来ればと思います。
2	学校に対する支援が弱い	月1回の利用のため	保護者との情報共有や専門職との連携で支援を深められたらと思う
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービス『もっこ』
------	---------------

公表日 R8年3月1日

利用児童数 26名

回収数 22名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	2		1	活動しているところを見ていないので(いつも別の家族が送迎していたりすることもあり)、よく分からない。	ご家族が協力して送迎をしていただきありがとうございます。またお子さんからのもっこのお話を聞いていただければと思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1		2	時々、とてもお忙しきされているので、スタッフを少し増やされてもいいんじゃないかと思いました。1と同じ。ただ、小学校上がる前の時の感想という、少ないと感じる場面があった。(ちゃんと見ていなくて、怪我をさせていた。)	9月から、基準配置数に加えより充実した療育が行えるよう加配職員を配置しています。昨年の怪我の事で、ご不安をさせてしまい申し訳ございません。今年は放デイで段ボールカッターの活動を行いました。安全面を考慮して実施しております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1					バリアフリーではありませんが、利用されているお子さんがわかりやすいよう空間の構造化や視覚表示など行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22						空間はより良い環境になるよう、職員間で意見を出し合い快適で療育活動に適したものとなる様に検討し改善しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1				外部講師として、言語聴覚士・作業療法士・心理士に助言をいただきながら支援しています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22						
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	22						
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22						
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22				月1ですが、毎回その季節にあったことをやってみて、楽しみです。	お子さんの状況や活動グループに合わせて創意工夫し、内容や組み合わせを変え活動に活かしています。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	6	3	3	主語は何でしょうか？	主語はもっことなっております。広域の各地域から来所いただいている関係もあり、地域との交流の機会は持っていません。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22					契約の際に、分かりやすく説明させていただいているつもりですが、何かご質問があればいつでもお声かけください。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1				半年に一度はモニタリングを実施し、その際、ご家族やお子さんの意向も反映するようにしています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	2				法人の心理士も含めた家族面談も必要に応じて実施しています。研修については、アプリでお知らせしたり、玄関に掲示したりしています。気になるものがあればお気軽にお声掛けください。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21	1				保護者の方の日々の子育ての悩みや不安なことについて、できる限りお伝えできるよう努めています。また、保護者へ伝えた内容については職員間で共有しています。保護者の方に気になることがあるようでしたら、できるだけ早く個別面談の機会を設けて対応しています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1				いつも親身になって聞いて相談に乗ってください。いつでもお話を聞かせてくださったりしてあります。またご要望があれば、その都度面談の機会を設けています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1				基本的にプラスにとって話をさせていただきます。寄り添ってくださっていただいております。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	4		1	参加していないため	保護者の方向けに参観・茶話を不定期で行っています。もっこまつりはご家族参加型ですので、ぜひご家族と一緒に楽しんでいただければと思います。		

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	3			お子さんや保護者の方からの相談や申し入れがあった場合、職員間で検討し、可能な限り次回利用時までには対応できるように努めています。しっかりと寄り添い対応していきたいと思っています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1			お子さんには必要に応じて視覚支援ツールを使用しています。保護者の方とは、毎回お話をさせていただいています。直接のお話だけでなく、携帯アプリでのやりとりや電話でも情報のやりとりをしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	1			法人として定期的にSNSを発信しています。自己評価結果については法人のホームページに掲載していますので、ご確認いただければと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1			法人として、個人情報保護の規定を設け、順守しています。保護者には、契約時に同意書をいただき、それに基づいて適切に運用しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	3		2	法人として各種マニュアルを策定しています。保護者への周知が不十分であったため、より見やすい様に工夫していきたいと思っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	3		2	年間計画に沿って、計画的に実施しています。報告書を玄関に掲示しておりますので、見ていただければと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	3			安全計画について、周知できずおらず申し訳ありません。玄関に掲示しております。計画に沿って対応や環境整備を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	2		2	特に事故、怪我等したことはないのわからないです。事故等発生時には、保護者に電話等で速やかに連絡しています。軽微なものでも、迎え時に発生時の状況等も含めてお伝えするようにしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	1			月1～2回の活動の為、月毎に内容が変わって不安を感じやすいお子さんには、事前に活動内容を予告したり、当日、簡単な日程表を掲示しています。これからも安心出来るできる場となるよう努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21			1	楽しんで通っていただけの方が多く、嬉しいです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1			毎回子供が楽しみに通所しています。子供の居場所になってもらっていることに感謝しています。保護者の方の悩みや不安な気持ちを少しでも和らげることができればと思っています。一番は、お子さんが元気に楽しく過ごせることだと思っています。保護者の皆さん、お子さんの成長を分かち合い、一緒に子育てを楽しんでいきましょうね。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス『もっこ』		公表日		R8年3月1日	
		チェック項目		工夫している点		課題や改善すべき点	
		はい	いいえ				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		4	個別療育・集団療育・遊びの空間をそれぞれ用意しています。また、外の広場を使って、大きく体を動かす活動も行っています。	雨天時など身体を動かすスペースが少ない 小学生には空間が狭かったり、机椅子が小さい事がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		基準配置数に加え、より充実した療育が行えるよう加配職員を配置しています。	やや足りないこともある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		利用されているお子さんがわかりやすいよう空間の構造化や視覚表示など行っています。また、常により使いやすい療育の効果上がるよう改善していきます。	今後も検討が必要です。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	2	空間は職員間で意見を出し合い、快適で療育活動に適したものと なるよう、常に検討し改善しています。	小学生にはやや机や椅子が小さいと感じます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		その時のお子さんの状態に合わせて、一人で過ごす場所を用意したり個別に職員が対応するようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		毎月計画を立てています。それを基に日々の振り返りや会議で業務・環境・支援の改善に向け努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		年1回、保護者向けの評価表をまとめています。率直な意見を参考に支援や活動に取り入れています。貴重な意見を活かしているようこれからも全職員で検討し努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎日朝昼の引継ぎの際に、業務上必要事項について確認し、改善に繋げています。また、月1回会議でも意見を出し合い業務改善しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	第三者による外部評価の取り組みは実施していませんが、療育内容等については、法人アドバイザーの大学教授の指導助言を頂き、日々の療育の改善につなげています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		各種研修には積極的に参加するようにしています。また、法人内で必要な研修を行い受講しています。研修参加後、他職員への伝達研修を行い、研修で得た知識を全職員で共有し支援の向上に努めています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	2	支援プログラムは職員の意見を取り入れて作成しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		4	利用開始時とモニタリングごとに保護者と面談を行い、ご家族のニーズを伺い作成しています。また、児童の状況についてアセスメントを定期的に行って支援計画へ反映しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		4		月1回・2回利用のため、日々成長する利用児に合わせて計画を作ることが難しいことが多い事があります。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	2		月1回の利用であり、継続的な支援が難しい事があります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		4	児童発達支援利用時に把握した「NCプログラム」といったアセスメントツールを使用しています。適応行動尺度（Vineland II）も使用できます。必要な時に使っていききたいと思います。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインの支援項目に沿って具体的な支援内容を設定しています。支援ツールを活用した設定を出来るように工夫しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		4	担当者が立案し、会議の場や日々の打ち合わせで共有し、全職員で確認・修正して活動に活かしています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		子どもの状況や活動グループに合わせて創意工夫し、内容や組み合わせを変え日々の活動に活かしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		子どもの状態や発達状況に応じて、個別活動と集団活動の他、人との関わりレベルを把握して支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援開始前に毎日職員間で打ち合わせをし、支援内容や活動の調整などを行っています。また、その日の子どもの様子に合わせて職員間で相談し、随時活動内容の変更等も行っていきます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		活動終了後には、毎日振り返りの打ち合わせを行っています。その際、引継ぎ日誌も活用して、参加できない職員とも情報の共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		活動終了後には、毎日振り返りの打ち合わせを行っています。その際、引継ぎ日誌も活用して、参加できない職員とも情報の共有をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		4	半年ごとにもモニタリングを行い、職員間で検討して支援計画を作成しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	2	2	「4つの基本活動」の「日常生活の充実と自立支援のための活動」「多様な遊びや体験活動」「地域交流の活動」「こどもが主体的に参加できる活動」を組み合わせ、毎月の活動設定を行っています。	外出が対応が難しく、社会資源を利用できていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		子ども意見を聞きながら、選択していけるような活動も設定しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		必要に応じて参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		担当する相談支援専門員等と連携を取り支援にあたっています。その情報を取り入れ支援計画を作成にも活かしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			土曜日開所のため、学校と直接連絡する事はほぼありません。必要な場合は保護者に確認しています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				そういったケースがありません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		法人の契約する大学教授、作業療法士（OT）を招いて専門的な助言をもらい、支援に活かしています。児童発達支援センター（笠岡学園・倉敷学園）を見学し、具体的な方法を学び取り入れています。他にも、職員個々が研修したことを会議で報告してもらい、知識を拡げています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		お子さま一人につき、月1回の利用としていることもあり、交流の機会は持っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		自立支援協議会子ども部会が開く2か月に一度の会には、児童発達支援管理責任者が参加しています。毎回興味深い内容で、職員全体に伝え共有しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時のお話や電話でのやりとり、連絡帳、SNSアプリなどを使って、きめ細かく子どもの状況が把握できるように努めています。また、こちらでの様子も時間を取って伝えるようにしています。保護者の方の子育て不安については、その場でお答えできるようにしています。また、即答が難しい場合には、一度時間をいただいて、専門機関の助言を集め、お答えできるよう努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		家庭内での養育の悩みや育ちの不安については、丁寧に聞き取りを行い、専門家の助言も受けながらお答えできるように努めています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に運営規定、利用者負担等について説明しています。また、運営規定についてはいつでも閲覧できるように事務所に設置しています。利用者負担については、毎月請求書等をお渡すときに説明しています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		支援計画作成にあたり、保護者の意見を盛り込み反映できるようにしています。また、お子さんの意見や気持ちを汲み取れるよう、支援計画に記載しています。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		半年に一度は個別のモニタリングを基にした支援計画を作成し、支援内容の説明をしています。その際、ご家族やお子さんの意向も反映するようにしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		保護者の悩みなどについて、こちらからも声を掛けさせていただくこともあります。必要に応じて個別面談の機会を設けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	2		兄弟同士で交流する機軸は持っていません。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			担当者を置き迅速に対応できるよう努めています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			法人として定期的に会報を、利用されている保護者へ配布しています。また、事業所のある地域の一般家庭へは新聞折り込みで配布しています。他に、ホームページやSNSも使い、広く広報しています。療育内容や連絡事項については、保護者に連絡帳アプリで様子を伝えるなどしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			法人として、個人情報保護の規定を設け、順守しています。保護者には、同意書をいただき、それに基づいて適切に運用しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			必要に応じて視覚支援ツールを使用しています。児童との関わり方や保護者への伝達したこと等、職員間で共有しています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		地域への行事の参加等は実施できていません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2		児童発達支援ガイドラインに沿って、各種マニュアルを策定しています。保護者の方がいつでも閲覧できるように設置しています。訓練は計画的に行っています。保護者・職員への周知については、更に機会を設けて行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			法人として業務継続計画（BCP）を策定し、会議で確認する機会を持っています。また、計画に基づき定期的な訓練を実施しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			契約時に服薬やてんかん発作等の聞き取りを実施しています。予防接種についての確認は不十分なため、聞き取り内容に加えるよう工夫していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			調理活動などを行う際には、事前にアプリ等で保護者の方と確認を行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			安全計画を作成し、定期的な訓練と設備等のチェックを行っています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			契約時に安全確保についての様々な機関との連携や取り組みについて説明しています。また、必要事項について随時お知らせしています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			危険な場所や場面については、気づいたときにできるだけ早期に改善できるよう努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			法人全体で年3回、虐待防止研修を行っています。研修で得た事を職員間で深め共有できるよう、事業所会議の場でも確認しています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			契約時に説明しています。また、保護者がいつでも閲覧できるように、法人の規定等を設置しています。	